

12/15 (火) 「中学生の税についての作文」表彰式

次代を担う中学生が税に関心を持ち、正しい理解を深めてもらうことを目的とする「中学生の税についての作文」の表彰式が茨城町役場で行われました。

町内の中学校からは699編の応募があり、このうち、水戸税務署管内租税教育推進協議会会長賞を受賞した青葉中学校3年萩谷怜央さんは「バランスのとれた社会」と題し、消費税増税を契機に財政赤字・少子高齢化・環境問題などの諸問題を踏まえ、責任を持ってバランスのとれた社会にしていくことが大切だと訴えました。



12/17 (木) 畜産技術の粋を集めた常陸牛 茨城町肉用牛枝肉共励会褒賞授与式



茨城県中央食肉公社において、茨城町肉用牛枝肉共励会褒賞授与式が開催されました。

同共励会には、33頭（和牛の部22頭、交雑種の部11頭）が出品され、審査の結果名誉賞には石崎均さん（上石崎）が出品したA-5ランクの常陸牛が選ばれました。石崎さんは、良い牛を育てるポイントとして「安全・安心が全て。常に消費者のことを第一に考えて飼育しています。」と話してくれました。

常陸牛は、県内の指定生産者が飼育する和牛のうち、特に優れた牛のみが「常陸牛」として認定されます。今回の

共励会に出品された和牛のうち、実に90%以上が常陸牛の条件を満たしており、町内畜産農家の技術水準の高さを示しています。

12/23 (水) 感謝を込めて餅つき大会

年の瀬も押し迫ったこの日、茨城地区交番連絡協議会と駐在所連絡協議会では、水戸警察署長や町内の交番・駐在所勤務の警察官を招いて餅つきを実施しました。

交番連絡協議会の江幡幸起会長は、「昼夜を問わず町の安全・安心に尽力してくれた警察の皆さんに感謝するとともに、来年も平穏な年になるようお願いを込めて餅をつきました。」と警察の労をねぎらいました。この餅つきは20年続く年末の恒例行事とのことです。



(写真手前右側) 杵を振るう水戸警察署長

12/18 (金) 涸沼の野鳥観察会

長岡第二小学校と広浦小学校では、霞ヶ浦環境科学センターと日本野鳥の会茨城県の協力により、両校の4年生を対象とした涸沼の野鳥観察会を親沢公園において開催しました。

子どもたちは、双眼鏡を覗きこみながら、カモやカイツブリなど、涸沼に棲む鳥たちを一羽見つけるごとに大きな歓声を上げていました。



12/7 (月) 青葉小学校 「夢と希望の森」植樹式・緑の少年団結成式



青葉小学校では、学校グラウンドの一角を「夢と希望の森」とし植樹式を行うとともに、児童自らが森を守り育てる「緑の少年団」を結成しました。これは、茨城県緑化推進機構（田村輝穂理事長）が推進する「子どもの森づくり推進事業」の一環です。

この日は、児童を代表して挨拶にたった緑川和也君は、「緑を愛する事を誓います」と宣誓し、緑の少年団最初の活動として、田村理事長や「いばらき緑の大使」の高田恵仁さんたちと共に、「夢と希望の森」にハナミズキやヤマモミジなどを植樹しました。

12/9 (水) 大好きいばらき県民運動表彰式

「大好き いばらき 県民会議」が主催する作文コンクールと、花と緑の環境美化コンクールの表彰式が茨城県市町村会館で開催され、作文コンクールで明光中学校2年の加藤雄大さんが「県民会議理事長賞」を受賞しました。また、花と緑の環境美化コンクールでは茨城町の「ひらさわファーム」が県内各市町村から選出された843団体等の中から、最高賞の「茨城県知事賞」を受賞したほか、広浦小学校は学校の部で「茨城県教育委員会教育長賞」を、前原女性部会は地域の部で「茨城新聞社長賞」をそれぞれ受賞しました。

茨城県知事賞を手にした平澤信江さんは「念願の県知事賞を受賞できたことを大変嬉しく思います。花壇づくりに協力してくれた皆さんに感謝します。」と喜びの声を聞かせてくれました。



(写真左から)
『第26回 大好き いばらき 作文コンクール』
大好き いばらき 県民会議理事長賞受賞
明光中学校2年 加藤 雄大さん
『第43回花と緑の環境美化コンクール』
広浦小学校 石毛 常己校長
ひらさわファーム 平澤 信江さん、平澤 協一さん
前原女性部会 黒澤 清江さん、袖山 とき子さん

12/12 (土) キレイな涸沼を目指して 涸沼湖岸清掃実施



茨城町家庭排水対策協議会では、クリーンアップひぬまネットワークが提唱する一斉清掃事業の一つとして、日本ゲージ株式会社の皆さん、網掛ボランティアの会の皆さんと一緒に、網掛公園周辺の湖岸清掃を実施しました。

この日、軽トラック2台分のゴミを回収した同団体は、「ごみの不法投棄は水を汚すことにも繋がる。一人ひとりが『捨てない・汚さない』を心がけ、きれいな涸沼を守りましょう。」と呼びかけています。